

2023年8月10日

各位

会社名 株式会社倉元製作所
代表者名 代表取締役社長 宮澤 浩二
(コード番号 5216)
問合せ先 取締役 小峰 衛
電 話 0228 - 32 - 5111

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）通期業績予想について、2023年2月14日に公表した業績予想について下記のとおり修正することとしましたのでお知らせします。

記

2023年12月期通期業績予想の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	1,500	200	200	200	6円05銭
今回修正予想（B）	650	△400	△400	△400	△11円95銭
増減額（B-A）	△850	△600	△600	△600	—
増減率（％）	△56.7	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2022年12月期）	1,058	△117	△32	0	0円02銭

<修正理由>

売上高は、主な用途が車載ディスプレイである基板事業につきましては、半導体不足も落ち着きコロナ禍以前への需要回復を見込んでおりました。しかしながら、コロナ特需の反動によりテレビやノートPC、タブレット端末といった単筆もり需要がなくなったことで、弊社の主要顧客である国内ディスプレイメーカーが海外ディスプレイメーカーの価格攻勢によりシェアを奪われ、稼働を大きく落とし、国内ディスプレイメーカーの苦境が続いたことから弊社の売上も減少を余儀なくされました。

また、昨年より新規事業として注力している半導体製造装置関連事業は、自動車の電動化に伴い需要は旺盛な状況でマーケットも成長傾向ですが、当社は、より高レベル（競争力のある）品質追求のため、新規導入設備のオペレーションの技術開発に時間を投入したこと、及び、お客様のサンプル評価が当初計画より時間を要したことから量産時期が2023年3月から2023年10月に後ろ倒しとなりました。

利益面では、売上高の計画比減少に加え、原材料・エネルギー価格の高騰の影響等から、営業利益、経常利益、当期純利益は、ともに当初計画を下回る見込みであります。

以上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。